

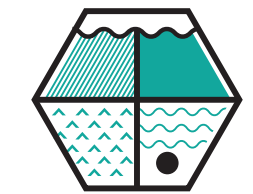
「大山さんのおかげ」から未来を紡ぐ



(一社)Bisui Daisen
(淀江の宿今津田中家のオーナー田中洋子と、同じく今津で簡易宿所を営むHidden Westの大原徹さんはじめとするメンバーが2022年4月に設立した一般社団法人)は、顧問の秋元大さんの全面協力を得て、次世代を育む場づくりの取組を始めています。

私達は「霊峰大山は、山川里海の距離が近い、自然の構造や積層する歴史を体感・理解しやすい特徴を持っている」と考えています。六千年営みが続く大山流域には、大陸から多くの渡来民が訪れ、多くの積層があり、その先人たちが残した痕跡から学ぶことがとても重要だという思いに至りました。初めは、地元の方へのヒアリングや営みの中に残る「大山さんのおかげ」という共通の認識を通して、体験メニューの試作を行いました。この活動に多方面の外部の有識者から反響をいただき、「大山流域から学ぶ水のプログラム」が生まれました。

そのプログラムに共感し、現在一緒に活動してくれている2名の女性を紹介します。



い
ま
づ
た
な
か
や

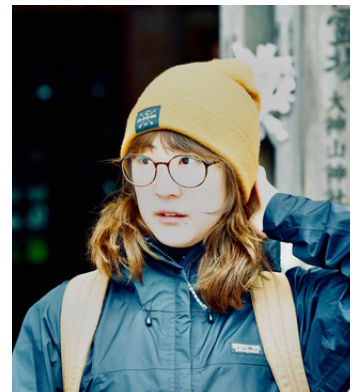
淀江の宿
今津田中家

瓦版

第17号

2024.08 発行

兵庫県伊丹市出身 平成12年生まれ
坂上萌 さかうえ もえ

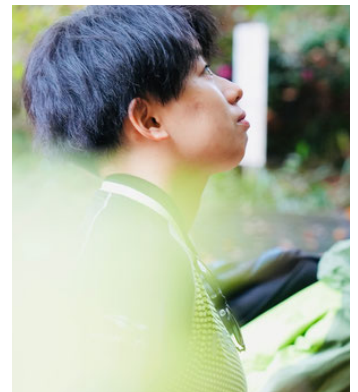


私が大山とご縁を頂いたのは、2023年5月に開催された第1回ブラネタリーヘルス・ツーリズムに参加したことからです。2泊3日を終えた時にあることに気づいたんです。かつての人が立ち上がる雲を「龍」と表現したのは、水循環そのものの摂理に畏怖畏敬の念を抱いていたからだだったということ。気がつく私と私の体もこの偉大な大山さんの一部であると実感しました。

それから、再び訪れたのは半年後の11月。帰郷してからもあの体験が忘れられず、Bisui Daisenの皆さんに頼み込んで、冬の大山さんのフィールドワークをして頂きました。

現在、大山流域に滞在して、プログラムに帯同しています。プログラム参加者が、深くこの地にダイブし、価値観が変わる様子に度々出会います。持続可能な社会が模索される時代に、ここにある自然観や営みに落ちた科学、哲学、そして身体知性が鍵になるのではないかと思います。現在新しいプロジェクトをこの地の同世代と立ち上げています。同世代に留まらず、たくさんの方にこの体験を届けていきたいと思っています。

米子市淀江町出身 平成13年生まれ
松田彩子 まつだ あこ



高校を卒業してからイギリスに、途上国支援を学びに行ったものの、途上国支援をしても何も根本的な解決にならないこと、そして自分のルーツを全く知らない自分がいることに気がつきました。「私って、日本って、何だっけ?」そんなことを考えていた2023年夏至、地元のことだけれど全く見えていなかった、大山流域に横たわる「歴史・文化・人・生き物」その全てが重なっていることを外部の方々から再定義しているBisui Daisenに出会いました。それから、大山流域のフィールドワーク、プログラムへの参加・帯同をさせていただき、その解像度が上がって行くにつれ、「地元でこんなに面白いことをしている人たちに出会えたんだから、イギリスに戻っている場合じゃない!!」と思います。休学をしてプロジェクトの進行に関わらせていただいています。

地元大山流域から、日本を、そして世界を見つめ直し、これからの時代を生き抜く視座を獲得する。このチャレンジを、内外の人に届けていきたいと思っています。

「大山さん」人材創出基金

古来より続く日本の積層から学び、次世代を育む場を創り、人材を創出する



エネルギー・貨幣経済を根本的に変えた産業革命以降、20 世紀の 100 年だけで人間は経験のしたことのない人口増と、それを支えるための工業化した社会を作り、教育を始めとした多くの制度が乱立してきました。

「発展」を旗印としてきたその「価値観」は、急激な人口増と連動した環境、食糧、外交などの問題をもたらし、情報化によって、漠然とした不安を多くの人が抱える時代になりました。

発展していくという価値観にとらわれず、人間中心主義に偏ることなく、人も自然の一部であるという「ネイチャーポジティブ」の視点で物事を捉え直すときが来たのではないのでしょうか。

ここに、次世代の人材を育むことを目的とし、日本に多くあった霊山信仰の一つである霊峰大山周辺で、今までの教育制度の枠を超えた学びの場を創るために、この基金を創設します。

基金概要

基金募集予定額：2,000 万円 (2,000 口)
基金一口あたりの額：10,000 円

1. 新しい学びの機会を創る

人類が経験のしたことのない人口増、環境問題等を抱える「人新生」と呼ばれる新たなフェーズに必要な人材の育成を目指します。

- 山川里海の距離が近い大山流域の地形から受ける恩恵とそれに気づき活かすことで、6000 年続く営みの構造や積層する歴史を身体を通して体感・理解するプログラム
- かつて渡来の民が多く流れ着いたこの地で起きた多様な「混ざり合い」に習い、本プログラムの提唱する「積層」に賛同してもらえる国内外の多くの講師陣を招く
- 「頭・心・体」すべてを統合して鍛錬する場を開く

2. 次世代にふさわしい新たな事業を育てる

当法人が提供するプログラムに参加し、理念に共感した新しいチャレンジをしたいと思う者の支援を行います。

- きっかけとなるプログラムの提供
- 新たな事業創出支援
- インターンシップや活動機会の提供

3. その他発信

志を共にする全国の流域と連携した情報発信を行い、それらを海外に広めていく活動を行います。

- シンポジウム・フォーラム等の開催
- 各種発信



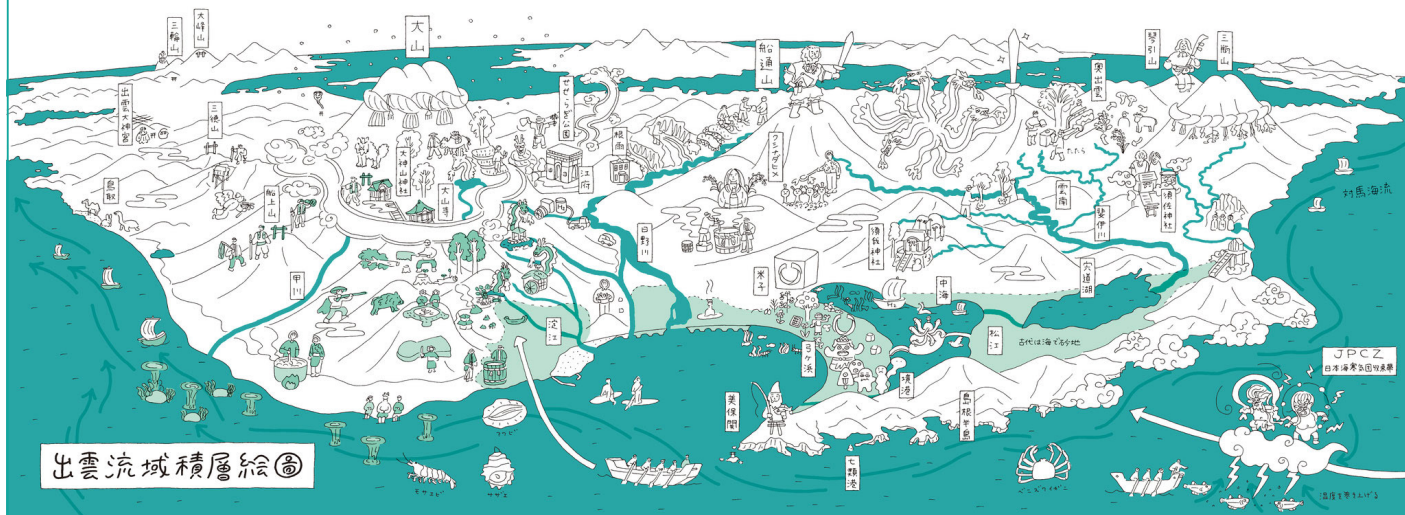
基金設置にあたって

(一社) Bisui Daisen 代表理事 大原 徹

大山流域で育った私は、なぜかは分からないのですが、この地の山と海に大きく惹かれる気持ちを持って育ちました。2022 年 4 月にこの法人を立ち上げて以降、様々な分野の外部の方と地元の皆さんをつないでいくプロジェクトを経験しました。その中で生まれたプログラムを通して、多くの方が「大山さんのおかげ」という感覚を共有してくださったという経験を踏まえ、この視座は次世代を担う多くの若者にこそ必要だという思いに至りました。混沌とした時代に、胸を張って次代につなげることを皆さんと一緒に創り上げるために、この基金を創設しました。

コアとなる情報デザイン

秋元大さん・坂上萌さん・松田彩子さんが中心となってフィールドワーク・調査を行い、玉利康延氏 (WEB 上で「食とアニミズム」プロジェクトを展開中) などにご協力いただき、視覚的に全容をわかりやすく理解することができる情報デザインを製作中です。(9 月以降、手ぬぐいとして販売していく予定)



淀江の宿今津田中家でとっとりワーホリしませんか？

「とっとり暮らしワーキングホリデー（とっとりワーホリ）」は、鳥取県内外の若者等が、働きながら県内の地域に滞在し、地域住民との交流や学びの場などを通じて地域での暮らしを学ぶ、鳥取県人口減少社会対策課の取組です。淀江の宿今津田中家を運営する株式会社ウォリスも受入企業として登録しています。以下の項目の中から活動内容を決めて、実際の活動をしていただく予定です。

【観光業・宿泊業・飲食業】○アクティビティ体験提供のサポートスタッフ○水源リサーチ補助○農業体験（自家菜園の野菜収穫・植付・米収穫）○観光コンテンツ造成○インバウンド化推進○宿泊・食事提供対応○カフェ営業○事務作業・情報発信

【経営創業キャリア支援事業】○経営シミュレーションゲームシステム化補助○研修コンテンツ造成補助



- 参加資格 18歳以上の方（高校生不可）
- 受入時期 令和6年6月24日から令和7年2月28日
- 一人当たり受入予定日数 3日～28日程度
※県外参加者は2週間以上滞在、県内参加者は3日以上滞在
- 契約形態 有給雇用（インターンシップ契約）
週20時間勤務（基本4時間×5日）

募集要項など詳しくはQRコードからWEBサイトをご覧ください



News Topics



神戸から淀江へ！キッズキャンプ！
神戸のオーダーメイド学習塾「セカンドホーム（代表生田嶋さん）」とコラボして昨年実施した自然満喫キャンプ。今年も8月8日～10日に実施されることとなりました。
今回は、坂上萌さん・松田彩子さんにも企画段階から参加してもらい、よりブラッシュアップしたキャンプになりそうです。次号以降で、子どもたちの声も掲載する予定です。



4月：そぞろ歩き

6月：トリジャーハンター

Youtube 動画で
ご覧いただけます



テレビ取材を受けました！
中海テレビ放送（鳥取県米子市に本社を置き、鳥取県西部をエリアとするケーブルテレビ局）の取材を受けました！
4月と6月、2回取材が入りました。いずれも淀江の紹介の中の一部に淀江の宿今津田中家が紹介されています。
淀江の魅力が紹介されておりますので、是非ご覧ください。

お得な特典たくさん！ 淀江の宿今津田中家 2024 年度会員募集

年会費

継続会員 2,000 円

新規会員 3,000 円

瓦版継続発行を応援して下さる会員の皆様を募集しています。
お得な会員特典も！ご協力よろしくお願いいたします。

会員特典

- 瓦版の送付 継続会員：瓦版 13 号～24 号 新規会員：瓦版 1 号～24 号
- お米 1 升（約 1.5 kg）プレゼント（きぬむすめ or もち米）
・新米ご希望の方は 2024 年 11 月以降
・お米は基本当宿にてお渡し（郵送料別途）
・お米が不要の場合、淀江の宿今津田中家の利用券 1,000 円分プレゼント
- 毎月 1 回 各種 10% 割引券
（飲食・カフェスペースレンタル・宿泊・イベント参加）
- 瓦版 2 周年イベント（2025 年 3 月開催予定）無料参加！



お申込み
フォーム



※8月は日替わり店長をお休みします。食事・カフェの予約は4名様以上で承ります。

連載「淀江プロジェクト」物語 [第十六話]

「淀江プロジェクト」とは、今津田中家という一軒の古民家を巡る物語である。

第16話：庭で山本さんのBBQ、あつこがやって来た！（淀江プロジェクト第5弾）

第5弾はプロジェクトメンバーが先入り！

2018年の年の瀬クリスマススイブの前日に第1弾がスタートした「淀江プロジェクト」。2019年1月下旬に第2弾、2019年3月下旬に第3弾、2019年5月に第4弾を実施して、片付けから解体へとフェーズが進んでいった。その2か月後の2019年7月1日〜7日の1週間、淀江プロジェクト第5弾を実施。

今回はメンバーに先に淀江入りしてもらい、仕事の都合で洋子は途中の4日から参加。

1日から淀江入りしてくれた3名

- しょうきち（野崎将太）さん
- 翔太郎（宮原翔太郎）さん
- ゴン（中山 雄一郎）さん

途中から参加の4名

- やつだ（八田 公平）さん
- もりさと（森田 悟史）さん
- ゆっぺい（河津優平）さん
- おにぎりくん（小橋 俊哉）さん

料理担当

- ★兵庫県尼崎市から
- BBQ マスター（山本 正勝）さん
- ★岡山県津山市から
- あつこ（ひろせあつこ）さん
- ★大山町在住
- ちなっちゃん（山本千夏）さん

総勢7名で、キッチン・リビング・ダイニング・洋室が整備され、解体、床・壁の下地作業、壁の塗装作業、裏庭の整備などが行われ、解体から構築していくフェーズへと入った。

BBQマスター山本さん登場！

淀江プロジェクトのメンバーの他に、地元の方々12名（メイちゃん農場の大家さんご家族・メイちゃん農場のマーケティングに関わっておられる会社のスタッフさんご家族、キミトデザインスタジオの吉田輝子さん、輝子さんが誘ってくれた今津出身の大家志穂さんなど）が参加してくださった。

山本さんが提供してくださる素材を活かした野菜料理、また豪快な肉料理の数々に皆は大満足。美味しく豪華なBBQを前にとても盛り上がった。そしてそのBBQが終わりに近づき、皆のお腹がいっぱいになった頃、一人の女性がやってきた。淀江プロジェクトに3月から3回連続で来てくれているゴン（中山 雄一郎）さんのFacebookの投稿を見て、岡山県津山市から「近いけー来た」と車でやって来たあつこ（ひろせあつこ）さん。海外帰りのあつこさんはそのまま宿泊し、プロジェクトの終わりまで滞在し、またその後もちょくちょく顔を出すこととなった。

あつこ&ちなっちゃんの手料理！

BBQの翌日から、もりさとさんの友人で大山町在住のちなっちゃん（山本千夏）さんが食事を作ってくれてくれることになったが、そこにあつこさんもお加わり、二人で共同して、皆の食事を作ってくれることとなった。毎回、工夫をして作ってくれる料理はとも充実していて、食べやすくパワフルの出るものだった。食事中や休憩中、また夜の懇親の食事会の際に、失敗エピソードなども含めて、自分の体験を面白おかしく話すあつこさんの話には爆笑。連日、大きな笑い声が響き渡ることとなった。

金曜日の夜は、淀江の町中の旧酒蔵をリノベーションした「大正蔵」でBar営業をやっているというところで、残っているメンバーで参加。とても素敵な空間でそのクオリティにリノベーションメンバーのテンションも上がった。また大山町にある妻木ハウス（大志穂さんの拠点）のイベントも見学させてもらった。今回は地元の方を中心に素敵な出逢いがたくさんあり、また構築していくというとても楽しみなフェーズに入っていた。次回は8月にやつださんの左官工事、また9月には皆で集まって続きを行うことになり、洋子は今回もワクワクしながら、大阪への帰路へついた。

作者・田中 洋子

（株）オリス代表取締役。淀江町今津にある実家を多くの人の手を借りてリノベしてUターンし、宿として活用。

「淀江プロジェクト」物語

「第16話」



第十七話に続く



ホームページ



お問い合わせ

淀江の宿 今津田中家

〒689-3401 鳥取県米子市淀江町今津 50-1

TEL : 0859-30-3889

www.imazutanakaya.com



今後はLINEを始め各種SNSにて瓦版を発信していきますので、ぜひご登録をお願いいたします。



LINE公式アカウント

お店のポイントが貯まる！

